

文化芸術交流事業に必要な経費

文化事業費

1. 人物交流事業費

(1) 文化人短期招へい

2. 催し等事業費

(1) 日本紹介のための文化人派遣（主催）

(2) 日本紹介のための文化人派遣（助成）

1. 人物交流事業費 (1)文化人短期招へい

海外の文化の諸分野において指導的立場にある者、日本と当該国の文化交流の上で貢献が期待できる者を招へいし、日本の実情視察、日本側文化人、関係分野の専門家との意見交換などの機会を提供する。

合計額 71,459,908円

	人物	対象国	現職	期間	事業内容
1	PELEVIN, Viktor	ロシア	作家	06.03.20～ 06.04.03	日本の文化全般に触れることにより日本理解を深める。日本の作家、関係者との意見交換を通じ日ロ文学交流を拡大する。
2	OTA, Simadri Bihari	インド	インド考古学調査庁主任調査官	06.03.31～ 06.04.13	日本の文化遺産保護、考古学研究の事情視察及び関係者との意見交換。
3	WHITE, Te Taru	ニュージーランド	ニュージーランド博物館テパパ副館長	06.03.26～ 06.04.02	日本の博物館事情及び日本文化事情の視察。
4	YU, Hua	中国	作家	06.08.18～ 06.09.01	日本文化及び歴史について見識を深めるとともに、日本の文化人や著名人との協力関係を構築する。
5	ANWAR, Dewi Fortuna	インドネシア	インドネシア科学院社会科学・人権研究副代表	06.09.21～ 06.10.05	日本の外交政策に関する研究者や実務者との意見交換、東南アジア研究者との面談。また、日本各地を視察する機会を提供し、日本への理解を深める機会を提供する。
6	BAAN, Laszlo	ハンガリー	ブタペスト国立西洋美術館館長	07.03.25～ 07.04.01	日本の美術関係者との面談及び関係機関訪問の機会を提供する。また同国立美術館での日本関連展覧会企画具現化に向けたネットワーク構築を行う。
7	HAJI TAHA, Adi Bin	マレーシア	マレーシア文化芸術遺産省博物館・文化財局局長	06.11.23～ 06.12.03	マレーシア国内の文化財保存・修復についてヒントを得るための日本国内の博物館等文化財保護の現場を視察、さらに関係者との意見交換を行い人物形成を図る。
8	POGACNIK, Miha	スロベニア	バイオリニスト	06.06.26～ 06.07.06	音楽・芸術の現代社会への役割・貢献について、より多くの理解を求める。また、同様のコンセプトを持って活動している組織との交流、人脈形成の促進を行う。
9	AL-KHALIFA, Shaikha Mai Bent Mohammed	バーレーン	バーレーン情報省芸術文化局文化・国家遺産次官補	07.03.31～ 07.04.08	著名な作家、政治史研究者、芸術家、遺産保護団体等との意見交換、および日本の文化施設・文化遺産等の視察。
10	ZOUGBI, Saleem G.	パレスチナ	ベツレヘム大学コンピューターセンター所長兼音楽アカデミー会長	06.07.24～ 06.08.07	同氏は日本の伝統音楽を長年にわたって研究しており、日本の伝統芸術、文化の視察を行う。

文化事業費

	人物	対象国	現職	期間	事業内容
11	ABDUL-HADI HASSAN, Hassan	イラク	ムサンナTV局 ニュース・プロデューサー兼キャスター	06.07.12～ 06.07.26	日本の政治、経済、社会、文化情勢の視察を行うとともに、日本のTV局、新聞社、及び文学・芸術界との交流を行う。
12	MOTABAGANI, Mazin	サウジアラビア	キングサウド大学准教授	06.11.13～ 06.11.27	日本における地域研究（西洋研究、中東研究）の現状について、関連大学・研究者と意見交換を行う。また日本文化や社会に対する認識を深める。
13	EL SAWY, Mohamed Abdel Monem	エジプト	サーウィー文化センター館長	06.09.03～ 06.09.13	日本国内の文化複合施設見学、企画運営方法について関係者との面談、日本の伝統及び現代の芸術文化鑑賞。
14	PANSITTIVORAKUL, Thansaka	タイ	映像作家、映画監督、映画批評家	06.07.07～ 06.07.21	自作映画の題材を得るため、日本各地を視察するほか、映画関係者との面談、人脈形成を図る。
15	HOSSAIN, Nisar	バングラデシュ	ダッカ大学準教授、画家	06.08.21～ 06.09.04	日本の美術大学視察、関係者との面談の機会を提供し、今後の日・バ芸術交流の人脈形成に役立てる。
16	TASHI, Khenpo Phuntsok	ブータン	ブータン国立博物館館長	06.07.11～ 06.07.25	日本の仏教研究者・宗教家との面談、博物館運営に役立てるため日本の国内の博物館見学及び関係者との面談を行なう。
17	HERNANDEZ, Aguilar Luis Federico	エルサルバドル	エルサルバドル国家文化芸術審議会総裁	06.09.19～ 06.10.03	文化行政関係者との面談、美術館・博物館・劇場等の文化施設訪問、伝統芸能や展覧会の鑑賞を通して、日本の文化に対する知見を深めるとともに、今後のエルサルバドルにおける文化行政・文化事業の参考にする。
18	DE OLIVEIRA, Rosane	ブラジル	ゼロオーラ紙政治部編集長	06.06.18～ 06.07.02	日本の平和政策、アジア近隣諸国との関係について知識を得るための関係者との面談、伝統及び現代文化の視察。
19	NISKIER, Arnaldo	ブラジル	リオデジャネイロ州教育長官	07.03.17～ 07.03.28	日本の社会・歴史・文化・教育について知識を得るための関係機関視察、及び関係者（児童文学者等）との面談。
20	RODRIGUEZ, Andres	チリ	サンチアゴ市立劇場総芸術監督	06.09.21～ 06.10.01	日本国内の文化・芸術機関往訪・関係構築、伝統から現代までの日本の文化芸術活動視察
21	GARCIA DE CURZ, Maria Victoria	コロンビア	カリ文化協会会長	06.10.26～ 06.11.09	日本の伝統文化・芸能と現代の文化全般の視察、劇場・美術館視察、2008年日本・コロンビア外交樹立100周年事業に向けた準備。
22	SCHERER, Bernd	ドイツ	世界文化の家館長	07.03.01～ 07.03.14	舞台芸術を中心とする日本の芸術界の現状視察、芸術関係団体・アーティスト等の面談、人脈形成。

	人物	対象国	現職	期間	事業内容
23	KELLY, Jude	英国	サウスバンクセンター芸術監督	07.03.04～ 07.03.11	日本の芸術状況の視察、文化関係者有識者、プロデューサー、アーティスト等との面談を通じた人脈構築。
24	DIMITROV, Yavor	ブルガリア	ソフィアフィルハーモニー理事長	06.10.16～ 06.10.30	日本国内の音楽大学・オーケストラ関係者や演奏家との面談、人脈形成。日本の伝統文化への認識を深める。
25	SHAAM, Mahmood	パキスタン	『デイリー・ジャング・カラチ』紙 編集長	06.06.16～ 06.06.23	日本文化及び歴史について見識を深めるとともに、日本の諸政策について関係者との面談、及び関係施設の視察を行う。
26	BELTRAN, Myra Victoria C.	フィリピン	振付家、ダンスフォーラム代表	06.07.27～ 06.08.07	コンテンポラリーダンスを中心とした日本の舞台芸術の視察、振付家やプロデューサーとのネットワーク形成を図る。
27	McDONALD, John	オーストラリア	美術評論家、キュレーター	06.08.21～ 06.09.05	日本の近・現代美術館を中心に訪問し、同氏がかねてより関心を持っている日本の現代美術の動向について取材を行う。
28	(アジア若手デザイナーグループ) ACHAVASMIT, Jarupatcha LAWALATA, Oscar LLOREN, Jojie NOOR, Nazleen SHARMA, Anuj	インド インドネシア タイ フィリピン マレーシア	テキスタイル・デザイナー ファッション・デザイナー 〃 〃 〃	06.12.06～ 06.12.17	アジア5カ国より若手デザイナー5名を招聘し、日本のファッション事情等に関するスタディツアーを実施し、将来の同分野におけるアジア域内相互交流の基礎となるネットワーク構築を行う。また、杉野学園ドレスメーカー学院と共催でファッションショーを開催する。
29	ESHUN, Ekow	英国	インスティテュート・オブ・コンテンポラリー・アーツ芸術部長	07.01.04～ 07.01.13	日本のポップ・カルチャーや社会の現状に対する理解を深める機会を提供する。
30	AGUILERA SOCORRO, Orangel Antonio	ベネズエラ	ベネズエラ国立自然科学博物館館長	07.01.18～ 07.02.01	日本の博物館関係者との意見交換、及び今後の学術交流・共同展企画等の実施の可能性を探る。
31	VAN BERGEN, Joris E.J.	オランダ	シーボルトハウス理事長	07.01.28～ 07.02.06	日蘭の文化交流促進のため、関係者との意見交換を行う。また、日本の伝統と現代文化に接し認識を深める。

文化事業費

	人物	対象国	現職	期間	事業内容
32	(米国舞台芸術 専門家グルー プ) HELM, Charles R. TAUB, Peter WAGAN, Sixto WEGMANN, MK WOLLESEN, Martin ZIETSMAN, Johann	米国	オハイオ州立大 学ウェクスナー 芸術センター舞 台芸術課長 シカゴ現代美術 館舞台芸術課長 ダイヴァース ワークス・アー トスペース共同 代表兼舞台芸術 学芸員 全米パフォーマ ンス・ネット ワーク事務局長 カリフォルニア 大学サンディエ ゴ校イベント室 長 国際舞台芸術協 会事務局長	07.02.28～ 07.03.11	第11回東京芸術見本市が開かれる機会を捉え、 訪日経験のないパフォーシング・アーツ・ジャ パン委員5名及び国際舞台芸術協会(ISPA)事務 局長を日本に招聘し、日本文化と社会に対する 知見を蓄積してもらうとともに、日本の舞台芸 術関係者とのネットワークを構築する。

2. 催し等事業費 (1) 日本紹介のための文化人派遣 (主催)

海外に日本の文化人やスポーツ専門家を派遣し、日本文化紹介のための講演、デモンストレーション、指導、セミナー、ワークショップなどを行なう(音楽・演劇・舞踊・民俗芸能など公演事業は除く)。

合計額 62,014,054円

	人物	現職	対象国	期間	事業内容
1	高畑 勲	アニメ映画監 督・プロデュー サー	チュニジア モロッコ	06.05.01～ 06.05.11	高畑勲(アニメ映画監督・プロデューサー)を メクネス、チュニスに巡回派遣し、アニメに関 するレクチャーとアニメ上映会を実施
2	梶野 俊明	曹洞宗徳雄山徳 攻寺住職・庭園 デザイナー	カナダ	06.04.04～ 06.04.04	梶野俊明(曹洞宗徳雄山徳攻寺住職・庭園デザ イナー)をカルガリーに派遣し、禅と庭園に関 する講演会、「日本庭園の美、謎及びデザイン」 を実施
3	伊藤 尚子 福島 加寿美	草月文化事業株 式会社アトリエ 制作部 草月流師範、財 団法人草月会理 事	カナダ	06.05.17～ 06.06.02	福島光加(加寿美)(草月流師範、財団法人草月 会理事)及び伊藤尚子(草月文化事業株式会社 アトリエ制作部)を、バンクーバー、モントリ オール、オタワに巡回派遣し、デモンストレー ション及びワークショップを実施

	人物	現職	対象国	期間	事業内容
4	黛 まどか	俳人	バーレーン	06.04.02～ 06.04.07	黛まどか(俳人)をマナーマに派遣し、シェイク・イブラヒム文化研究センター主催・同国皇太子後援事業「詩の家」オープニングイベントにおいて詩を朗読
5	山形 季央	株式会社資生堂 デザイン制作室 長	韓国 中国	06.09.05～ 06.10.23	山形季央(株式会社資生堂デザイン制作室長)をソウル、上海、広州に巡回派遣し、デザインに関する講演会を実施。
6	寺澤 大介 畑 耕一郎 川本 徹也 岡本 建二 鈴木 照美 上田 径	漫画家、スタ ジオシド代表 辻調理師専門学 校 日本料理主 任教授 辻調理技術研究 所 教授 辻調理師専門学 校 職員 辻調理師専門学 校 職員 株式会社講談社 編集者	韓国	07.02.01～ 07.02.05	寺澤大介(漫画家)、畑耕一郎(辻調理師専門学校日本料理主任教授)、川本徹也(辻調理技術研究所日本料理教授)ほか計6名の漫画と日本料理の専門家をソウルに派遣し、料理漫画原作アニメーション上映会、原画展、韓国の料理漫画家ホ・ヨンマン氏との対談及び日本の食文化に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
7	菊川 顕 赤木 勇 大谷 高正 竹内 藤一郎 坪井 弘光	柔道三段、岡山 商業大学 居合道無双直伝 英信流教士七 段、タックコン サルタント株式 会社 柔道六段 岡山 大学教授 柔術竹内流宗家 柔道六段 岡山 理科大学附属高 等学校教諭	フィリピン ブルネイ マレーシア	06.08.13～ 06.08.22	竹内藤一郎(竹之内流宗家)ほか計5名の柔道、居合道、武術の専門家をクアラ Lumpur、マラッカ、バンドルセリブガワン、マニラに巡回派遣し、古武術のレクチャー・デモンストレーションを実施
8	魚住 一郎 高橋 範 小畑 紘一 飯島 正大	弓道範士八段、 国際弓道連盟副 会長、財団法人 全日本弓道連盟 理事 弓道範士八段、 財団法人全日本 弓道連盟評議員 弓道二段、財団 法人全日本弓道 連盟国際委員 弓道範士八段 全日本弓道連盟 評議員	インド ブータン	06.10.20～ 06.10.30	魚住一郎(弓道範士八段・国際弓道連盟副会長)ほか計4名の弓術専門家をムンバイ、デリー、ティンブーに巡回派遣し、弓術の指導及びレクチャー・デモンストレーションを実施

文化事業費

	人物	現職	対象国	期間	事業内容
9	松本 實 加藤 英子 山本 千春 小暮 慶子	有限会社ウエスト企画	米国	06.11.01～ 06.11.15	松本實(有限会社ウエスト企画代表)ほか計4名の着物専門家をアトランタ、マイアミ、ニューオリンズ、ヒューストンに巡回派遣し、日本の着物に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
10	坂本 一水	漫画家	米国	06.09.16～ 06.09.24	坂本一水(祥世)(漫画家)をデトロイト、シカゴに巡回派遣し、漫画に関するレクチャー及びワークショップを実施。
11	吉増 剛造 吉増 コルボット・マリリア	詩人 パフォーマー	ブラジル	06.08.06～ 06.08.23	吉増剛造(詩人)及び吉増コルボット・マリリア(パフォーマー)を、パラチ、サンパウロ、ブラジリア、カンピナスに巡回派遣し、日本の文学(詩)に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
12	酒井 邦男 酒井 栄美子 上田 真吾	日本浮世絵博物館学芸員 有限会社酒井好古堂代表 有限会社酒井好古堂 浮世絵摺師	コロンビア パラグアイ ボリビア	06.10.02～ 06.10.14	酒井邦男(有限会社酒井好古堂代表、日本浮世絵博物館学芸員)ほか計3名の浮世絵専門家を、アスンシオン、ラパス、ポゴダに巡回派遣し、浮世絵に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
13	陶山 恵	講師	エクアドル ペルー	07.02.27～ 07.03.10	陶山恵(東京工芸大学芸術学部アニメーション学科講師)をリマ、キト、クエンカに巡回派遣し、アニメに関するレクチャー及びアニメ上映会を実施
14	菱川 パトリシア	3D CGクリエイター	グアテマラ ドミニカ共和国 ニカラグア	06.10.05～ 06.10.16	菱川パトリシア(3D CGクリエイター)をサントドミンゴ、マナグア、グアテマラシティに巡回派遣し、アニメに関するレクチャー及び作画ワークショップを実施
15	山下 泰裕 中西 英敏	柔道八段、東海大学教授、特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティ理事長 東海大学助教授 柔道七段	フランス	07.02.02～ 07.02.10	山下泰裕(柔道八段、東海大学教授、特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティ理事長)及び中西英敏(柔道七段、東海大学助教授)を、パリ、マルセイユ、ボルドーに巡回派遣し、柔道に関するレクチャー及びデモンストレーションを実施。パリ日本文化会館開館10周年記念
16	川澄 健 西田 徹	東京すしアカデミー東京校 校長 東京すしアカデミー 講師	スウェーデン デンマーク ノルウェー フィンランド	07.02.24～ 07.03.07	東京すしアカデミー東京校校長・川澄健氏、同アカデミー講師・西田徹氏を、オスロ、ヘルシンキ、コペンハーゲン、ストックホルムに巡回派遣し、寿司に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
17	山口 真 松浦 英子	おりがみはうす代表 おりがみはうすデザイナー	ウクライナ ウズベキスタン カザフスタン	06.10.06～ 06.10.20	山口真(おりがみはうす代表)及び松浦英子(おりがみはうすデザイナー)を、タシケント、サマルカンド、アルマトゥイ、アスタナ、キエフに巡回派遣し、折り紙に関するレクチャー・デモンストレーションとワークショップを実施

	人物	現職	対象国	期間	事業内容
18	高橋 政男 上原 英樹 竹村 典久 本田 俊朗	柔道八段 北海道警察 柔道五段 長野県警察 柔道六段 広島県警察 柔道四段 栃木県警察	ロシア	06.11.10～ 06.11.24	高橋政男(柔道八段)ほか柔道家計4名をウラジオストク、ハバロフスク、ユジノサハリンスクに巡回派遣し、柔道の指導及びレクチャー・デモンストレーションを実施
19	溝渕 括也 小山 裕久	平成調理師専門学校 教頭 特定非営利活動法人日本料理文化交流協会 理事長	ギリシャ フランス	07.02.20～ 07.03.01	小山裕久(特定非営利活動法人日本料理文化交流協会理事長)及び溝渕括也(平成調理師専門学校教頭)をパリ、アテネに巡回派遣し、日本料理に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
20	島田 雅彦	作家 法政大学教授	イラン	06.11.23～ 06.11.28	島田雅彦(作家)をテヘラン、イスファハンに巡回派遣し、日本文学に関する講演を実施
21	笹山 安文 石渡 雅彦	財団法人池坊華道会教授	イエメン トルコ	06.09.01～ 06.09.14	石渡雅史(財団法人池坊華道会教授)及び笹山安文(財団法人池坊華道会教授)をサヌア、アンカラ、イスタンブールに巡回派遣し、生け花に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
22	大橋 栄二 大橋 瑛子	日本の風の会 世話人 日本の風の会	ウガンダ ケニア	07.02.26～ 07.03.08	大橋栄二(日本風の会世話人)及び大橋瑛子(日本風の会)をナイロビ及びエンテベに巡回派遣し、和風に関するレクチャー・デモンストレーション及び制作ワークショップを実施
23	秋山 真和	綾の手紬染色工房 主宰	セネガル	07.01.12～ 07.01.25	秋山真和(綾の手紬染色工房 主宰)をダカールに派遣し、藍染に関するレクチャー・デモンストレーションを実施
24	森本 公誠	東大寺 別当	インド	07.01.21～ 07.01.26	森本公誠(東大寺別当)をデリー、コルカタに巡回派遣し、日印仏教交流史に関する講演を実施
25	中村 義明 北山 安夫	中村外二工務店 代表 有限会社北山造園 代表	インド	06.11.25～ 06.12.01	中村義明(中村外二工務店代表)及び北山安夫(有限会社北山造園代表)をデリーに派遣し、日本庭園・建築に関する講演を実施。
26	村上 春樹	作家	チェコ	06.10.29～ 06.11.07	村上春樹(作家)をプラハに派遣し、文学に関する講演を実施
27	長谷川 貴彦 渡辺 坂司 藤田 由仁 藤田 博子	株式会社ディップ オアシス・ガーナ友の会代表 日本独楽博物館 館長 日本独楽博物館	インドネシア	07.03.17～ 07.03.24	渡辺坂司(オアシス・ガーナ友の会代表)並びに、独楽やヨーヨーの専門家の藤田由仁(日本独楽博物館館長)、藤田博子(日本独楽博物館)、及び長谷川貴彦(株式会社ディップス)をジョグジャカルタに派遣し、地震で被災したジャワ島の子供たちを対象に演劇他のワークショップを実施

文化事業費

	人物	現職	対象国	期間	事業内容
28	多和田 葉子	作家	ヨルダン	06.12.03～ 06.12.06	作家・多和田葉子氏をアンマンに派遣し、文学に関する講演を実施
29	石黒 育	アニメーター・ 演出家、株式会社 動画工房代表 取締役	チリ ベネズエラ	07.03.11～ 07.03.21	石黒育(アニメーター・演出家、株式会社動画工房代表取締役)をカラカス、サンティアゴに巡回派遣し、アニメに関する講演を実施。

2. 催し等事業費 (2)日本紹介のための文化人派遣 (助成)

海外において日本の文化人やスポーツ専門家が日本文化紹介のための講演、デモンストレーション、指導、セミナー、ワークショップなどを行なう事業に対し、助成を行なう（音楽・演劇・舞踊・民俗芸能など公演事業は除く）。
合計額 27,330,516円

	人物	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
1	佐藤 ミチヒロ	ジュエリー作家 伊丹ジュエリーカレッジ講師	韓国	慶星大学芸術大学	06.04.27～ 06.04.30	慶星大学(韓国・プサン)美術学部において行われる、日本・韓国・ドイツ合同クラフト展の中のプログラムで、紙のジュエリー作品をスライドで紹介する講演会である。作品という視覚表現を通じて日本人としての感性を紹介すると共に日韓の工芸分野に関わる人々との友好を深めることを目的とする。
2	野田 暉行	東京芸術大学音楽学部 教授、副学長	中国	雲南芸術学院	06.09.18～ 06.09.26	中国において現在日本音楽創作についてのレクチャー及び公演を行う。上海では新作が上海の演奏家によって上演され、日本現代音楽の状況と21Cの動向に関するレクチャーを行うと共に音楽界の専門家や学者と交流を行う。
3	武安 義光	(財)全日本剣道連盟会長	中国 モンゴル	北京剣道同好会 上海剣道愛好会 モンゴル剣道連盟	06.06.16～ 06.06.26	剣道人口の急成長している中国、特に北京、上海で週末を利用して剣道指導と現地からの要望が強い審査会を開催する。週末の間にはモンゴルで剣道指導をする。

	人物	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
4	富岡 三智	ジャワ舞踏家 インドネシア 語通訳 東南アジア史 学会,比較舞 踊学会,東洋 音楽学会,民 俗芸術学会会 員	インドネシア	インドネシア 大学	07.02.05～ 07.02.15	能のワークショップ、公演、講演、記録ビデオ上映。単なる紹介ではなく、催しにディスカッションを設け、日本とインドネシアに共通／相違する文化背景や直面する問題について対話・交流を促し、数年後には共同制作あるいは同一テーマで競作した公演を日本とインドネシアで実施することを目標とした。実技だけではなく、伝統芸術を取り巻く環境、研究や映像記録と上演と連携など、共通する諸問題について話合うことを重視し実施した。
5	熊谷 真由美	La Crema des Crema主 宰 料理研究家	ベトナム	ベトナム文化 情報省	06.08.20～ 06.08.25	Japan Festival2006 In Vietnamにて日本料理の中でも家庭料理に絞り、現地の食材を存分に使用した交流型ワークショップを行う。そこで、日本料理の味や作法を親しみやすくベトナムの市民に伝え、日本料理の素晴らしさを感じてもらい、日本文化の理解を深める。
6	熊谷 雅	日本美術家連 盟	インド	SIR JJ SCHOOL OF ART	06.11.01～ 06.12.15	インドの大学、ギャラリー、学校で生徒、一般の方を対象にした「KATAZOME WORKSHOP」を実施した。日本伝統である「染と織」それにまつわる伝統・文化をスライド・写真・見本資料などを通じて紹介すると共に沖縄を中心とする一枚型多色刷りの型染技法をWorkshopを実施した。また、ギャラリーではインド人作家とのコラボレーションによる現代美術、特に和紙、インドの紙を中心とした作品の展覧会とワークショップで交流した。
7	曾根 博義	日本大学教授	オーストラリア	シドニー大学	06.04.29～ 06.05.06	シドニー大学に対して、井上靖の遺族から井上靖全集を寄贈するとともに日本文学研究の奨励を目的とする井上靖賞を設立するに当たり、井上靖紹介のための講演会を開催する。

文化事業費

	人物	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
8	田中 義弘	江戸の伝統工芸共同組合理事長	オーストラリア	シドニー日本文化センター	06.09.20～ 06.10.04	台東区と姉妹都市であるマンリー市の「マンリー芸術祭」の参加。江戸すだれ、江戸刺繍、江戸提灯、江戸宝飾、江戸刃物、江戸おろし金から成る江戸伝統工芸職人が一同にデモンストレーションを実施。歌舞伎や能のような舞台芸術とは異なり、実演者と対象者の距離が近く「ものづくり」を対象者にも参加可能。寄贈品を家の中に持ち込むことにより常に日本を身近に感じさせることが可能。製作に参加してもらい交流と日本生活文化への理解を図る。
9	細野 葉霞	(財)草月会いけばな師範	オーストラリア	いけばなインターナショナルメルボルンチャプター草月ビクトリア支部	06.08.24～ 06.09.09	2006年日豪交流年の民間記念行事として、いけばなインターナショナルメルボルンチャプターと草月ビクトリア支部が共同開催する、いけばな紹介事業であった。 いけばな愛好家および一般オーストラリア人に対して、いけばなデモンストレーションを実施すると共にワークショップを実施した。また、インターレーションを制作した。
10	山口 毘堂	能面師、桑沢デザイン研究所非常勤講師	米国	アジア美術館	06.05.28～ 06.07.05	サンフランシスコ、アジア美術館において2006.6.1～6.30まで日本の伝統的な能面制作についてスライドレクチャー、デモンストレーション、ワーク・ショップ（参加者に実際お面造りを体験してもらい完成させる）を行った。
11	金子 マサ	ぬりえ美術館館長	米国	ニューヨーク日系人会	06.09.22～ 06.10.23	ぬりえを通して日本文化の表現をニューヨークにて体現した。ぬりえの展示とデモンストレーションを通じ、それぞれの技法と芸術性を説明、さらに日本書店での講演を行い、より深く日本文化とその表現を伝えた。
12	武田 良甫	華道未生流笹岡京都支部講師	グアテマラ	グアテマラ花協会	06.06.24～ 06.06.30	日本の華道全般を概要説明するとともに、未生流笹岡のデモンストレーションおよびワークショップを行った。展示においては、同じ花材を用いて、グアテマラ花協会会員の作品と比較。表現の違いを鑑賞。講義後は立礼式のお点前を実施。希望者には体験してもらった。在グアテマラ日本大使館が平成18年度主催・実行する日本文化紹介月間の一環。

	人物	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
13	吉田 晃良	大阪成蹊大学 芸術学部 教授	メキシコ	グアナファト プエブロ美術 館	06.08.03～ 06.09.16	昨年実施された「メキシコ・日本inグアナファト現代版画交流展」の一環として2006年メキシコ・グアナファト美術館文化プログラム事業を行う。内容としては、京都の伝統的工芸技法による繊維造形（ファイバーアート）作品の展示。日本の繊維造形をスライドによる紹介。金彩友禅技法による染色、型紙による染色。
14	藤田 由仁	日本独楽博物 館 館長	コロンビア	路上昔遊び大 会実行委員会	06.05.25～ 06.06.10	コロンビアで行われる「路上昔遊び大会」へ参加し、同国で遊ばれている多くの昔遊びのルールである日本の昔遊びをデモンストレーションした。2日間のイベントで2万5000人の観客を集める大規模なイベントであり、今回は25周年を記念して日本で遊ばれている昔遊びを披露し、日本とコロンビアの文化交流を昔遊びを通じて広げていった。
15	多木 浩二	評論家	イタリア	ローマ日本文 化会館	06.04.24～ 06.05.31	講演においては倒幕、開国した日本がどのように近代化の道をたどったか、その際、近代天皇制がどのように成立したかを論じた。その象徴として「天皇の象徴」がいかなる政治空間を成立させ、人々がそのなかで生きる国家が形成されるプロセスについて論じた。セミナーでは歴史の方法、図像史学の可能性などを討論した。
16	中嶋 宏行	(有)墨のアトリ エ代表取締役	フランス	アヴィニオン・フェ スティバル実行 委員会	06.07.04～ 06.07.28	第30回アヴィニオン・フェスティバル（フランス）の公式プログラムに参加した。申請者は日本からの書家・現代美術作家として、作品の展示とデモンストレーションを行った。書道で「月」の文字を毎夜一点つづ、その夜に浮かんだ月の姿、フェスティバルの雰囲気を感じながら毎夜制作し、制作現場はデモンストレーションとして公開した。
17	まつい のり こ	紙芝居文化の 会・代表 絵本・紙芝居 作家	フランス	バニユー市	06.04.01～ 06.04.10	フランスの地方自治体が取り組む、本格的な紙芝居事業に全面協力した。2002年度に日仏共催で「日仏紙芝居文化講座」を開催した。前回の成功を受け今回も紙芝居の活性化を図る目的で地元幼児教育関係者を対象に紙芝居を学ぶ講座を開いた。

文化事業費

	人物	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
18	松山 由維子	映像作家	フランス	パリ日本文化会館	06.06.21～ 06.06.26	日本の映像作品の上映・講演を通じて映像芸術の辿って来た歴史と今日的意義をパリで紹介した。60～70年代の代表的な実験映画と現代の映像作品を3つのカテゴリーに分けて併置し、その歴史を越えて通底する問いかけを試みた。
19	山口 朋子	山口能装束研究所主幹染織研究家	オーストリア フランス	Amities Tissees	07.03.07～ 07.03.23	「能装束の世界展」ではパリで、能装束の展覧と近世の日本の染織の技と内在する深い世界を紹介した。
20	太田 曜	実験映画作家、東京造形大学非常勤講師	フランス	Des'ka	07.02.24～ 07.03.30	日本で製作された実験映画の短編作品を2つのプログラムにして、フランスを中心とするヨーロッパ各地で上映し、上映と同時に会場でレクチャーを行った。
21	桃谷 好英	折り紙専門家、国際交流折り紙の会会長	フランス	M.F.P.P	06.05.23～ 06.06.06	フランス折り紙協会、国際折り紙会議にて、折り紙文化についてのレクチャー、ワークショップ、折り紙作品の展示と作品解説した。
22	渡邊 坂司	特定非営利活動法人 オアシス	クロアチア セルビア・モンテネグロ	SOS子供村 ノピサド	06.04.03～ 06.04.24	セルビア・モンテネグロ及びクロアチア二カ国で慈善マジック公演を実施した。公演後「オリガミ教室」「誰にでも出来る簡単手品」のレクチャーを行った。
23	沢 則行	チェコ国立芸術アカデミー演劇・人形劇学部教諭 人形劇作家、人形・舞台芸術家	チェコ	オープンアート・ノバーク・パカ	06.07.16～ 06.08.26	2006年7月～8月にかけて、チェコ共和国のスタラー・パカ市ロシュコポフ村で開催される「子供のためのカルチャー・キャンプ」においてチェコの子供たちとその指導者のための特別セミナーおよび舞台作品、人形作りなどのワークショップを指導した。また、他セミナーも含めてカルチャー・キャンプ全体の芸術監修、企画アドバイスも行い、今までに試みられたことのない方法によるチェコ人のための日本文化紹介を実施。
24	藤本 トモエ	NPO国際珠算普及基金理事	ブダペスト チュニジア モロッコ	ハンガリー珠算協会 チュニジア教育省 ヤッサミン小学校 アッサビル小学校	06.10.29～ 06.11.08	珠算教育」の効果と意義を日本の独自の文化として世界各国の数学者や教育関係者に紹介。教育関係者を対象とする珠算教育の効果による講演とそろばんの実技指導、暗算技術の紹介、現地小学校での子供たちを対象とするそろばん使い方指導、教育省初等教育担当者に対するそろばん教育のワークショップ。

	人物	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
25	新井 庸弘	(財) 少林寺 拳法連盟	タンザニア	少林寺拳法 ダルエスサ ラームシティ 支部	06.09.19～ 06.10.04	ケニア・タンザニア両国の少林寺拳法 会員により要請を受け、現地における 日本文化の振興と少林寺拳法の普及を 促進するために技術・学科に関する指 導並びに一般公開デモンストレーション を実施した。
26	長谷川 貴彦	株式会社 ディップ	コロンビア	路上昔遊び大 会実行委員会	06.05.25～ 06.06.10	コロンビアで行なわれる「路上昔遊び 大会」へ参加した。ヨーヨーのレクデ モを実施した。本大会は同国で遊ばれ ている多くの昔遊びのルールである日 本の昔遊びをデモンストレーションする 2日間のイベントで2万5000人の観客 を集めた。
27	隈 研吾	隈研吾建築都 市設計事務所 代表取締役社 長 慶応義塾大学 理工学部教授	セルビア・モ ンテネグロ	応用美術館	06.04.22～ 06.04.30	ベオグラードで開催される第28回建築 サロンにおいて、日本の現代建築に関 する講義を行なった。
28	二階堂 考	尚美学園大学 芸術情報学部 兼任講師 日本合唱指揮 者協会実行委 員	グアテマラ	日本合唱指揮 者協会	06.06.23～ 06.07.04	合唱を指揮・指導する人のための講習 会と歌う人のための講習会を行なう。 短期間の練習で現地グアテマラの合唱 団をコンサートまで導く。講習会では 発声法、指揮法、アンサンブル、楽曲 分析等の理論と実践を行なう。実際の 日本作品にも取り組むがその中で日本 文化・音楽のレクチャー、日本の作曲 家の作品紹介が中心となる。
29	中川 茂昭	シゲ・ナカガ ワ切絵工房	韓国	在韓国日本大 使館	06.07.24～ 06.07.28	実際に切り絵を制作してもらい日本文 化を直に体験できる参加型の文化行 事。関心の高い韓国の子供達の参加を 考慮して夏休みに実施した。韓国の若 年層の日本文化普及に努めた。
30	清水 敬介	NPO国際 ホースバッ ク・アーチェ リー協会理事 長	モンゴル	International Horseback Archery Association Head Office	06.09.06～ 06.09.11	日本古来の騎射技術を披露、指導する。 モンゴル帝国建国800周年を記念する 行事「国際ホースバック・アーチェリー 競技大会」の成功を収めた。
31	杉本 準一郎	愛知県立常滑 高等学校教 諭、彫刻家	ネパール	ARAMBHA Contemporary Nepali Sculpture Group	06.07.26～ 06.08.20	日本・ネパール国交樹立50周年 カ トマンズにて日本で活躍する彫刻家と ネパールで活躍する多くの彫刻家が参 加するイベント。貴重なネパール産 大理石を使い友情と信頼 (Harmony) をテーマに公開制作を行なった。

文化事業費

	人物	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
32	杉本 洋	NPO法人文化交流機構円座	カナダ	ヴィクトリア美術館	06.07.11～ 06.07.21	日本文化紹介のためのワークショップ・レクチャー・公開制作。「ペント・イン」に展示を行なう日本人アーティストのレクチャー（漆、鍛金）ワークショップ（扇面制作、木版画）公開制作（彫刻）を行なうことにより、日本の伝統文化や制作技術の紹介及び美術館所蔵の日本美術の修復のアドバイスをする。美術を媒介とした国際文化交流の礎を築く。
33	BAKU 斎藤	スタジオバク代表取締役、CultureMotion "APPASIONATO" 代表、(社)日本写真家協会会員、(社)日本広告写真家協会会員	米国	国連本部	06.06.19～ 06.08.18	ニューヨーク国連本部にて写真展、セミナー、ギャラリートークを開催。各専門家からクメール文化を背景とした日本との関わりや日本の活動、写真文化等を世界各国の人々に伝える。
34	原 すがね	東北芸術工科大学芸術学部美術科工芸コース助教授、日本テキスタイルカウンシル監事、日本テキスタイルデザイン協会会員	コスタリカ	コスタリカ北米文化センター	06.09.07～ 06.09.21	アメリカ・マイアミにあるWomen in Textile Orgaqnizationが主催する国際イベントに参加。染織に関するレクチャー、ワークショップ、展示などが行なわれた。レクチャーでは「日本の現代染織」をテーマに講演を行なった。
35	田島 栄次	NGO折り紙外交の会代表	ドイツ マケドニア	ミュンヘン折り紙愛好会独日協会	06.07.05～ 06.07.21	ドイツ、マケドニアにおける病院、教育施設を中心に折り紙交流、指導、支援を行なった。折り紙をリハビリ治療に活用する小児病院での指導と折り紙の寄付を実施。マケドニアの教育施設での交流、指導及び折り紙の寄付を行なった。
36	坂上 弘	日本文藝協会	ドイツ	ベルリン国際文学祭事務局	06.09.03～ 06.09.15	世界から小説家・詩人120名の参加を見込まれる国際文学祭に参加。自作のテキストの朗読を通じて文化の相互理解を深める他、劇場、図書館、学校等における発表に参加して交流を深めた。

	人物	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
37	円田 秀樹	(財)日本棋院	アイスランド	在アイスランド日本国大使館	06.09.28～ 06.10.10	アイスランドとトルコの囲碁文化普及促進。首都レイキャビクにて囲碁のデモストレーションと囲碁講座を開催。トルコ囲碁協会の協力を得てアンカラ・ブルサにて囲碁のデモストレーションと囲碁教室、イスタンブールの囲碁大会にて多面打ち指導碁・解説を行なった。
38	那須 幸雄	東京(江戸)友禪染教室代表	英国	マンチェスター・メトロポリタン文学	07.02.02～ 07.02.25	英国マンチェスターメトロポリタン大学内にて伝統工芸である着物染手法友禪を通じ文様、日本のモードの素晴らしさを教えることから相互理解、文化交流を深めた。日本文化入門として、着物の歴史、現況を説明するとともに着物が染められる工程を实际学んで頂いた。
39	藤田 賢二	東京大学名誉教授、W.K.バルトン生誕150年記念事業企画実行委員会委員長	英国	マンチェスターメトロポリタン大学	07.02.02～ 07.02.25	明治に来日し日本の上下水道技術を育成したWKバルトン氏の生誕150年を記念して祖国スコットランドで彼の存在を伝え両国の友好親善も兼ねた記念事業を行なう。講演会ではスコットランド人が日本の近代化に果たした役割について講演。また、両国の上下水道及び環境に関するシンポジウムを実施。
40	岡部 マリー	フルーティスト	ザンビア	エヴリンホーン大学	06.07.15～ 06.08.14	吹奏楽に関わる全ての楽器の取り扱いと演奏方法を教授しザンビアでのヨーロッパ音楽に対する認識と演奏技術の向上を計った。練習結果発表のためのコンサートを行なった。
41	股野 容子	茶道表千家	ベトナム	ベトナム文化情報省	06.08.19～ 06.08.24	日本の和菓子、現地の花財、菓子を使用した現地文化と融合したお茶会を開催。そこで茶道の日本における役割、和菓子の美やいただきかたの作法を親しみやすくベトナムの市民に伝え茶道の奥ゆかしさ、おもてなしの心を伝える。
42	日高 充宣	表千家悠久会会長	中国	江西財經大学	06.10.12～ 06.10.17	日本の生活文化の典型である華道、茶道、を具体的にデモストレーションで紹介したことにより、日本人そのものについて理解を深めた。
43	森谷 洋至	写真家	ブータン	在インド日本国大使館	06.10.24～ 06.11.06	ブータンでの日本週間の期間中、森谷洋氏の写真作品展及び講演会・ワークショップを開催した。

文化事業費

	人物	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
44	大谷 俊介	電気通信大学 教授	オーストラリア	ヴィクトリア 州芸術省	06.11.22～ 06.11.29	豪州メルボルンでの日本画25点の展覧会に併設してシンポジウムを開き、そこに日本画・日本文化についての講演を行う文化人3名を派遣した。
45	山本 宏子	岡山大学教育学部教授、兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科教授	米国	ウィスコンシン大学マディソン校	06.11.24～ 06.12.03	アメリカ地方都市の青少年を対象にしたセミナーで日本音楽の美に共感してもらうために演奏会、解説つきデモンストレーション、実際に楽器に触れてもらう参加型のワークショップを組み合わせたもの。
46	高橋 泰三	(株)染の聚楽代表取締役社長	米国	Japan EXPO	06.11.16～ 06.11.21	Japan EXPOに参加し、衣装展示、解説、キモノ文化についての講演した。日本の歴史伝統を正しく理解してもらう事を目指した。
47	糸井 紫雲	小原流特別認定専門教授者一級家元教授府中市カルチャー講座講師	アルジェリア	在アルジェリア日本大使館	06.09.15～ 06.09.23	アルジェリア市で一般市民を対象とするいけ花デモンストレーションを実施した。アルジェリア日本大使館が主催する「2006年アルジェリア日本文化週間」の中核をなす行事となった。
48	北島 忠雄	日本将棋連盟	米国	アメリカ将棋連盟	06.10.08～ 06.10.13	将棋専門棋士を海外に派遣し日本の伝統文化、将棋を外国に紹介した。プロ将棋界最高棋戦である竜王戦をサンフランシスコで実施する機会に、地元将棋ファンとの交流を行った。
49	二戸 正友	(有)二戸砂子工房代表取締役	エジプト	エジプト文化省	06.11.13～ 06.12.01	平家納経や源氏物語絵巻等に見られる金箔銀箔を用い襖・屏風など和風建具に加飾する事業。自らの作品を美術館に展示する他、大学での講演を実施。
50	奥村 恵美子	クリエイティブハウスおくむら代表	フランス	パリ日本文化会館	06.11.20～ 06.11.30	日本の原風景と原家屋の映像を通して日本人の根本的な精神風土を発信する。日本の風景が集約されているといわれている兵庫県但馬地方の風景映像誌を中心に構成した映像プログラムをパリ日本文化会館のドキュメンタリーシリーズ、オートサボア建築会館の映像展等を実施。
51	中保 佐和子	ファクトリアル代表、詩人、翻訳家	米国	ベラドンナ	06.11.14～ 06.11.20	東京とニューヨーク共同開催により日本の女性詩人をニューヨークに派遣。朗読会、国際現代詩パネル、ワークショップ、また代表的現代詩人の朗読会収録ビデオの上映会を開催。実践と研究報告の両面から日本の現代詩を紹介。

	人物	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
52	遠藤 敦司	群馬県・前橋 朗読研究会 「プレス」	韓国	同徳女子大学	07.02.20～ 07.03.10	日本文化への関心を日本語による音声表現という形で伝えた。韓国日本語文化学会の研究者を対象に朗読会を開いた。大学で日本語を学ぶ学生に朗読を聞かせた。近代を代表する作家の作品を取り上げ日本語の魅力、美しさ、独創性を伝えた。
53	梅野 重俊	(株)梅の花代表 取締役社長	インド	在インド日本 大使館	07.01.25～ 07.02.04	2007年「日印交流年」事業の一環として、在日本インド日本大使公邸において日本料理の紹介を行った。豆腐と湯葉を中心とした精進料理を紹介することを通じて、禅を仲介とした日本とインドとの関係の深さを認識させた。インド人知識層に対する日本理解の促進を図った。
54	森田 美穂	京都造形大学	インド	アクション・ ミッションス クール ワットシー ズスクール	07.03.21～ 07.04.01	日本文化造形ワークショップは日本風和室や関連する空間構成を参加者と事業が共に造形的に制作することで参加者が日本文化の本質に触れることができるように考案した。日本の生活文化に関する講演や造形実践指導を実施した。
55	ティム クロス	福岡大学人文 学部助教授	オーストラリア	AIDA	07.03.07～ 07.03.12	シドニー近郊の大学やシアターで現代舞踊を専攻する学生を対象に、能を紹介した。日本から宝生流能楽師2名を招聘し、比類なき抽象テクニクを現地の学生と学んだ。単に能を披露する事業ではなく、能の動きがどのような意味をなし、その表現力を放つかなど、ワークショップを通じて、現地の学生に伝承した。能の伝統技術がオーストラリアの現代舞踊の向上に貢献した。
56	伊藤 行也	劇団影法師代 表取締役舞台 美術家	オーストラリア	シアター オ ブ イメージ	07.02.22～ 07.03.18	小学校の児童とオーストラリア国内で児童青少年演劇に携わる関係者を対象として、簡単な日本の影絵人形の作り方、操作方法、演技方法を学ぶ影絵ワークショップを実施する。ワークショップ参加者には日本の影絵技術と海外のデジタル技術が融合した舞台作品を鑑賞する。その上で、実際の影絵技術がどのように使われるのかと、今後の影絵世界の創造性と可能性を感じた。

文化事業費

	人物	現職	対象国	対象機関	期間	事業内容
57	増井 一平	東京芸術大学 大学院美術研 究科非常勤講 師 型彫師	フランス	パリ日本文化 会館 パリ装飾美術 館	07.01.08～ 07.01.13	パリ日本文化会館で開催される「型紙展」に赴き、またパリ装飾美術館所蔵の型紙の質・時代・技術と保存状態、また日本からパリに伝来した型紙のルーツを明らかにした。装飾美術館では、型紙を彫る実演、型紙の用具、用材の歴史について講じた。
58	片岡 正二郎	俳優、ミュー ジシャン	フランス	パリ日本文化 会館	07.02.26～ 07.03.05	小津安二郎監督「生まれてはみたけれど」「東京の合唱」を、かつての日本独自の上映形態である弁士・楽士付きで上映した。音楽と台本はオリジナルのものを公演した。
59	曾根 将郎	曾根造園取締 役、日本庭園 技術研究所所 長	オランダ	ライデン大学	06.10.15～ 06.10.21	オランダ・ハーグ市所在のクリンゲンダール日本庭園においてオランダの庭園専門家に対し、日本庭園における剪定等の実技指導を行った。オランダの庭園専門家に対し日本庭園を中心とした日本文化についての講義を行った。
60	渡辺 孝史	一保堂代表取 締役社長	フランス	パリ日本文化 会館	07.02.02～ 07.02.12	日本茶の歴史、製造法、栄養価、飲み方などを解説し、参加者の日本茶、ひいては日本の食文化に対する理解を深めるレク・デモを実施した。